第41回　価値づくりセミナー

中小企業持続化支援セミナー

～利益を出し続けている会社に共通するポイント～

- 平成27年6月3日(水)
- 於：益子会計事務所　セミナールーム

2005-15©益子会計事務所,All Rights Reserved

吉田 知生（よしだともなり）のプロフィール

1975年　宮崎県で5代続く焼酎の造り酒屋の生まれ。東京都港区在住。
小さい頃からの数字好きで、友達に勉強を教えることが好きだったことから、数学の先生を夢見る。
慶應義塾大学商学部卒業後、2001年益子会計事務所に入社。
事務所主催の「価値造りセミナー」では講師も担当。会計・経営・組織活性化に関するセミナー講演は、20回を超える。
コーチングを取り入れた丁寧な解説は、受講者から「大変わかりやすい」と好評。
「親身に、誠実に」をモットーに、お客様と喜怒哀楽を共にしつつ、真の信頼関係を築く会計人を目指している。
夢は、お客様と本音で語り、ワクワクした「未来会計」を一緒になって考えること。
大切なものは、大学の混声合唱団で出会った妻と父親似？の娘。いま夢中になっているのはゴルフ。ゴルフ場を貸切り、お客様を招待してゴルフコンペを開催したい！

セミナー開催実績
益子会計事務所　価値づくりセミナー
平成17年
・変動損益計算書の正しい読み方
平成18年
・会社法改正
・平成18年税制改正について
・営業マナー研修(コラボセミナー)
・『社長の決断』“数値”を部下にすれば経営は万全
平成19年
・イン・ザ・ブラック　～継続的な黒字会社をつくる9原則～
・長期的な視点で見る中小企業の経営動向
平成20年
・1%の改善で、実はこんなに儲かる！セミナー
・黒字体質の会社をつくる8つのステップ
～個人の価値観の共有・組織の価値観をつくる～

平成21年
・ザ・メソッド　あなたの会社をキャッシュリッチに変える8つの秘訣
平成22年
・事業承継の上手なすすめ方
・優れたリーダーに変わるたった一つの行動とは？
平成23年、24年
・きびしい経営環境での効果的な銀行交渉術と改善方法

その他
・会社法改正セミナー(損害保険代理店集会にて)
・会計事務所職員向け　企業防衛の心得研修(全国各地)
・変動損益計算書の分析と活用方法(大田区工場協会)など

2005-15©益子会計事務所,All Rights Reserved

新規創業した会社の現状

Q1. 新規創業した会社が、10年後も生き残っている割合

①30%　②20%　③10%　④5%

Q2. 上記の会社が、ほぼ10年間黒字を出し続けている割合

①70%　②50%　③30%　④10%

2005-15©益子会計事務所,All Rights Reserved

創業後会社が直面する問題　①

①創業から最初の決算まで

・会社設立後に聞いた失敗談

資本金の金額（消費税の納税義務等）
決算期をいつにするか（利益の調整の有無）
税務署等への届出（青色申告）
創業時限定の補助金等の申請

②第2期から第3期まで

・資金繰りの問題（銀行からの資金調達）
・消費税の納税義務者になる

2005-15©益子会計事務所,All Rights Reserved

創業後会社が直面する問題　②

③第3期から第10期まで

・資金調達と複数の金融機関の利用
　どのような金融機関と付き合ったほうがよいのか？
　　都市銀行？　地方銀行？　　信用金庫？

・初めての税務調査
　どのような会社に税務調査が入るのか？

・税金は、いつ、どのくらい払うことになるのか

・人員確保の問題（ヒトの問題）

・売り上げ確保の問題（営業戦略）

2005-15©益子会計事務所,All Rights Reserved

創業後会社が直面する問題　③

創業後10年以内に、事業が持続化できない理由

①固定費が過大（注意するべき金額：人件費、地代家賃等）

②金融機関からの借入金への依存度が高い

③リアルタイムでの数値の把握ができていない（ドンブリ勘定）

④市場や環境の変化に対応できていない

⑤会社のビジョンが明確になっていない

⑥決断に時間がかかる

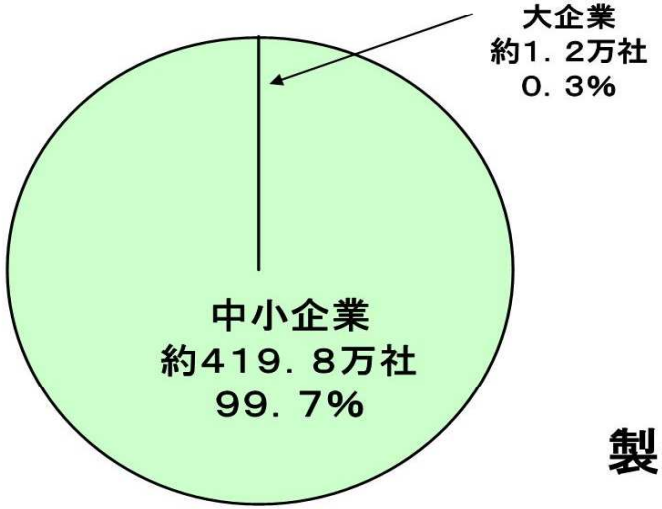
2005-15©益子会計事務所,All Rights Reserved

中小企業を取り巻く環境　①

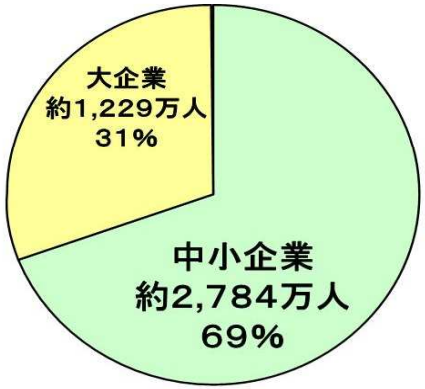
＜1．日本の中小企業＞

中小企業は、我が国421万企業のうち99．7%を占める。
従業者数・付加価値額（製造業）においてもそれぞれ7割、5割以上を占める。

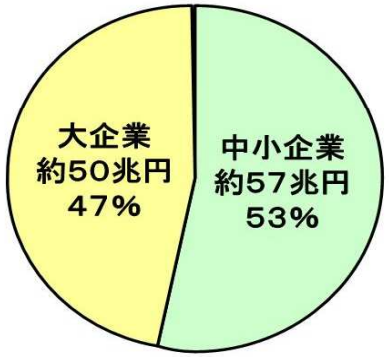
企業数（421.0万社）



従業者数（4,013万人）



製造業付加価値額（108兆円）



中小企業の定義／製造業：資本金3億円以下又は従業者数300人以下
卸売業：資本金1億円以下又は従業者数100人以下
小売業：資本金5千万円以下又は従業者数50人以下
サービス業：資本金5千万円以下又は従業者数100人以下

経済産業省 「工業統計表」(2006年)
総務省 「事業所・企業統計調査」（2006年）再編加工

2005-15©益子会計事務所,All Rights Reserved

中小企業を取り巻く環境　②

赤字法人の状況

（百万円）

	法人数（対前年）	利益計上法人		欠損法人	
		事業年度数	所得金額	事業年度数	欠損金額
全国	2,721,234	806,473	52,851,202	1,934,179	12,654,589
	+9,944	29,42%		70.58%	

国税庁平成25年度（25.4～26.3）　直接税統計情報（統計年報）

国税庁の発表によると**７０%の法人が赤字**

７０%が赤字だから仕方ない！

30%の黒字法人は何が違うのか？

2005-15©益子会計事務所,All Rights Reserved

利益を出し続けている会社の共通点　①

①試算表を活用して、経営判断をしている

・月次残高試算表をチェックするタイミングは？

A．毎月
B．四半期に一度
C．年に一度

・会計ソフトの入力はだれが行うか？

A．代表者もしくは代表者の親族
B．経理担当者
C．会計事務所にアウトソーシング

・月次残高試算表をどう活用しているか？

2005-15©益子会計事務所,All Rights Reserved

利益を出し続けている会社の共通点　②

②複数の資金調達手段を持つ

・金融機関から資金調達を行う場合、どこに申し込むか
→政府系金融機関、信用保証協会を組み合わせて
複数の資金調達手段を持つのが良い！
理由は？

・セーフティネット保証制度の活用
数年前までよく利用されていたのが、5号認定（業績悪化）

会社所在地における独自融資制度の活用

・中小企業経営力強化資金の活用
日本政策金融公庫（経営革新等支援機関の指導が必要）

2005-15©益子会計事務所,All Rights Reserved

利益を出し続けている会社の共通点　③

③余分な税金を戦略的に削減する

・事前確定届出給与の活用
役員報酬は、【定期同額給与】が原則
→事前に届出を行えば、役員にも臨時で支払うことが可能
ただし、社会保険料も考慮すること

・会社契約の生命保険の活用
取締役を被保険者とする生命保険の検討
→解約時の状況を考えることが必要（課税の繰り延べ）

・経営セーフティ共済（中小企業倒産防止共済）の活用

・税額控除等の積極的な検討と活用
雇用促進税制、投資促進税制等

2005-15©益子会計事務所,All Rights Reserved

利益を出し続けている会社の共通点　④

④公的補助金や助成金を効果的に活用する

・雇用関係助成金の活用

高齢者、障害者を雇用する場合
安定就業を希望する未経験者を雇い入れる場合
契約社員等を正規雇用へ転換する場合
→社会保険労務士へ相談、厚生労働省ＨＰ参照

・中小企業支援策の補助金等の活用

国、都道府県、市区町村単位で様々な補助金あり
→中小企業庁ＨＰ等を参考に情報収集

ただし、　補助金、助成金を盛り込んだ（あてにした）事業計画は作成しないこと

2005-15©益子会計事務所,All Rights Reserved

利益を出し続けている会社の共通点　⑤

⑤上手なお金の使い方（貯め方）ができる

・売上目標よりも利益目標を決める
中小企業の売上は、環境に左右されやすい
固定費計画のこまめな方向転換を行うことで、
利益（お金）を確実に確保する。

・金融機関からの借り入れに頼りすぎない
万が一の場合に、代表者が会社に資金投入できる
環境を作っている。
なぜ、代表者の役員報酬は、高く設定するのか？

2005-15©益子会計事務所,All Rights Reserved

老舗会社経営者が大切にしている共通点

①質素倹約

②規模よりも継続を重要視

③信用を大切にする

④地道な企業活動

⑤環境の変化に対応した進化

2005-15©益子会計事務所,All Rights Reserved